

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 333

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 2. 予防費 現年		
事業名	新型インフルエンザ対策事業				
細事業名	新型インフルエンザ対策事業				
評価表作成者				市民福祉部 保健医療課	原田朱美

1. 事業の概要

新型インフルエンザ対策として、新型インフルエンザ予防接種を実施し、予防接種を受けていただくよう啓発した。

新型インフルエンザ(A/H1N1)は、平成23年3月31日付けで五類感染症に位置づけられ、その名称も「インフルエンザ(H1N1)2009」と変更され、季節性インフルエンザとして取り扱うことになった。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

市内での新型インフルエンザ発生及び蔓延を防ぎ、市内での感染予防を図る。

②事業を実施する必要性

国内で新型インフルエンザが発生しており、市内での感染予防を図る必要がある。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円		1,037	567	173	0	0	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円		0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	1,025	450	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	12	117	173	0	0	0
職員等の従事人員	人/年	—	0.12	0.53	0.71			
人件費	千円	—	1,017	4,389	4,446			
事業費総額	千円	—	2,054	4,956	4,619			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

新型インフルエンザ予防接種用紙代等 173,090円（消耗品費）

5. 事業結果の概要

新型インフルエンザ予防接種を受けていただくよう啓発に努めた。
 感染予防のため、公共施設等に手指消毒液を補充した。（備蓄品）

6. 活動の詳細

新型インフルエンザ予防接種の実施について、「お知らせなんたん」に掲載		南丹市内医療機関での接種者数16,942人（市住民以外も含む）

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

一般のインフルエンザに移行した。今後の感染予防対策として予防接種事業とあわせて実施していく。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

保育所や小中学校を中心に集団感染が発生したが、迅速に消毒液や薬用石鹸、マスク等を配布し、更なる感染拡大を防止することが出来た。

■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点
近隣他市町での物品購入取り組みがない状況での事業であったが、発生状況等考慮し必要物品内容を検討した。
- ②当該事業のアピール事項
発生を見越して、早期に予防対策物品の備蓄に取り組んだ。又男性職員が活動可能な、大きい防護服を購入した。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
新型インフルエンザが発生した現在、行動計画に基づき引き続き必要物品の補充を行う。